



摩利支神社の
秋季大祭に
東郷小学校の
同窓生達と
出店しました！

10
号

剛!
NEWS!!

政務調査報告書

第 10 号

宗像市の地域アイデンティティ 独自性をもったあるべき姿とは？

宗像市は子育て世代に選ばれるまちを目指しています。そのために食、歴史文化、教育環境などたくさんの魅力を発信していますが、戦略的な広報において最も大事なことは地域アイデンティティを明確にすることです。私は宗像のアイデンティティを、「歴史ロマン」と考えています。

日本ヒューレット・パッカード社は地域貢献活動として宗像大社と道の駅をテーマにテレビや新聞で広報を行いました。その広告換算値は数億円規模であり、全国に宗像の魅力や価値を発信しました。宗像市が選ばれた決め手は世界遺産登録の活動であり、企業の視点からみて、歴史的な資産価値が高くメッセージ性があると認められています。

世界国際環境 100 人会議が「海の道は未来への道」というテーマで開催されました。環境保全と次世代の人材育成を目的として、今後5年間の会議開催と子どもたちへの教育が行われます。古来、海の道を通して大陸の文化が伝わる玄関口であった宗像は国際的な視点からみても魅力があり、開催地として最適であるという評価を得ています。

このような特性が注目され、アイデンティティとして認識されるなか、宗像市は国際的に活躍できるグローバル人材を育成します。神話の時代からの歴史と国際交流の拠点であった特性はグローバル人材の育つ素地となる。歴史ロマンあふれるわが町を誇りに想い、代々受け継がれた精神性をみにつけ、世界に羽ばたく人材が育つ。このような物語性をもってアイデンティティを土壌に育つ宗像人像を明確にすること、そして子ども達自らが意識を高めるきっかけとなる経験機会を増やすことが必要です。



世界国際環境100人会議では、世界中で活躍する環境問題のリーダーが集まりました。



宗像の風風は企業広報のプロからも好評を得ました日本HP社の撮影風景

●●● 東郷駅整備ならびに東郷駅前開発に関して Q&A ●●●

東郷駅は宗像のアイデンティティである歴史ロマンの玄関口となります。駅、そして駅前となる平井地区は景観も含めて象徴的なものであるべき、と考えます。以前の一般質問の進捗状況も含めて現状確認と何が必要とされているか、2項目目の質疑を行いました。

Q1. 北口駅前広場整備の進捗は？

A1. 用地買収が1軒を除いて合意に至り、27年度の完成を目指す。世界遺産を意識した設計を行う。

Q2. 東郷駅の改修は？

A2. 世界遺産構成資産の玄関口にふさわしく、景観にも配慮された駅となるように自由通路整備とあわせて駅舎の改修協議もJR九州とすすめていく。

Q3. 北口の名称を宗像大社口に変更する協議の進捗は？

A3. 地元住民との合意形成が重要だ。駅前整備の開始とあわせて考えていきたい。

Q4. 平井地区開発の考えは？統一感のある開発誘導が必要ではないか。

A4. 住宅や商業施設等の立地の可能性が高まりインフラ整備を通して民間事業者による開発行為誘導等をすすめる。全体像を示しながら民間事業者と協議を行う

Q5. 駅前の景観保全の考えは？

A5. 景観計画において歴史的風土や周辺の景観と調和した形態意匠とする、周囲の山並みの稜線を阻害しないように地形に配慮した位置配置とするなど一定の制限はかけていきたい。

Q6. 今後の整備で東郷駅からの視界が広がり見渡せる風景となる。平井山の里山として慣れ親しまれた景観とスカイラインは維持すべきだ。景観重点区域に設定しては？

A6. 地権者、利害関係者の合意が大前提だ

Q7. 世界遺産登録された暁には何万人もの人が最初に見る風景となる。地域住民との合意形成のため情報を提供し意見を聞く場所が必要ではないか？

A7. 住民提案型の都市計画、提案制度がある。そのために市職員からのワークショップや大学の先生などの専門家をアドバイザー派遣などの手法で話し合いながらすすめていきたい。

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。

また、日々の活動はfacebook【[facebook.com/goyo4da](https://www.facebook.com/goyo4da)】にて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●



平成26年

7月 田熊山笠が行われました。事前に行われる東郷小学校での山笠教室では大声出してびっくりさせるのが主な役目です。オイサの掛け声や手一本の練習をしました。示現神社のおくだりの笛練習では30年ぶりに吹きましたが音が出ず。本番では神輿のかきてで参加です。



8月 日の里祭りでは総務部で参加。成功に終わりましたが、少子高齢化が祭りにも影響を及ぼしているのを実感します。ふるさとづくりの理念を現状にあわせてどのような形で継続していくか、これからの課題です。

9月 定例会が行われました。平成25年度の決算審議を行い税金の使い方をチェックしました。議会の合間に事業評価や団地再生の会議なども行われています。